

山本富士夫より コメント (その4 : 2/29)

高浜原発 4 号機の緊急停止のニュースを知って

26日に再稼働した高浜原発4号機について、別添の毎日新聞の記事のように、今日(2/29)、「送電開始した14:01:26に主変圧器(MTR)の故障を知らせる警報が鳴り響き、発電機が緊急停止し、原子炉も緊急停止した」と報じられています。MTR故障の内容は報じられていないが、原因究明と対策に時間がかかるとして、営業運転までの日程はわからないといわれています。

再稼働後の三日目に緊急停止したのは、関電だけでなく原子力規制委員会の杜撰な運転管理のもとで再稼働したことを意味していると思います。変圧器や発電機だけでなく送電線や計測制御電気系統は、原発では数千Kmの長さがあり、末端で故障があっても原子炉が緊急した事故は、今までに関電の大飯原発等で何回も起きています。電気系統が正常に働かず緊急停止に失敗すれば、重大事故の恐れを免れないのです。

やはり、私たちは原発の再稼働を許せないのです。